

鍼灸マッサージ治療を健康保険で受診できるよう

医療を考える会

住所:渋谷区代々木 2-39-7 メゾン代々木 201 号

TEL:03-3375-6151 / FAX 03-3299-5275

メールアドレス : iryu-kangaeru@waltz.ocn.ne.jp

発行元 : NPO 法人医療を考える会

保険費委任払い 拒否の流れに 反対の大合唱を！

—今期わたしたちがなすべきこと—

理事長 相葉計佳

病める人達と伝統医療を守り、医師の同意書を添付した疾患には保険支給を守らせるよう皆さん頑張りました！

健康保険の取り扱いでは、慢性的疼痛を主症とする疾患はハリ・灸治療の適応であり、鍼灸師が治療を行う病気となっている。ハリ・灸治療を求める人たちが多くいるにも関わらず、接骨院が慢性的な疼痛を主症とする疾患についても、新鮮な外傷である打撲・捻挫・挫傷として治療している現状があります。また、健康保険の取り扱いによると慢性疾患の治療には医師の同意書が必要であり、医師が同意書を書けば保険者はその治療に対して治療費を支給しなければならないことになっています。鍼灸師の場合は、健康保険からの治療費の支払いは



その同意書が必ず必要ですが、整骨院の治療は同意書なしで健康保険から治療費が支払われます。この特別な対応が不正や混乱の原因です。整骨院も同意書なしで治療するのは問題です。全て平等に、整骨院もハリ・灸治療と同等の取り扱いにすべきです。

さらに、厚労省は患者がハリ灸マッサージ治療を医師に要求したら、その要望に出来るだけ応じて同意書を出さなければいけない、特に理由がない

のに拒否することはいけないと文章で明記して通達を出すべきではないでしょうか。同意書については施術の円滑を図るため様式を定められていません。このことは患者の権利を守るためだと想像します。

そして、「保険者機能を推進する会」の療養費委任払い拒否は患者・被保険者に配慮のない乱暴なやり方ではないでしょうか。

最近では慢性疾患などの治療や、健康保持増進のためにハリ灸マッサージが治療は効果があると、有名な安保徹、福田稔両医師が著書に述べています。

ヨーロッパ・アメリカなどではハリ灸マッサージ治療効果の評価が高まり、世界的な広がりを見せています。

伝統医療を活かした日本型の医療を、有識者の中に入れて国全体で考えることが必要です。高齢化が急速に進むこの社会において、明治政府以来、西洋医療を中心にして伝統医療を排除してきた流れが、世界的に今や伝統医療の再評価というように変わりつつあります。

皆保険の中、ハリ・灸マッサージ治療を制度の外に置く差別的行政が改められるべき時ではないでしょうか。委任払い中止は、国の免許制度の中、差別的行政そのものではないでしょうか！皆さん声を大にして訴えようではありませんか！

患者や被保険者の権利を守る立場からしても絶対に放置しておくことは出来ないのではないかと考えます。

*「委任払い」とは…保険申請の複雑な業務を代行する団体に保険請求と支払金の受け取り業務を委任すること。

*「委任拒否」とは…保険申請業務を委任することについて拒否すること。患者が直接保険申請を行うよう求めている。

平成22～23年度 理事と役割

理事 13名の役割分担が決まりました。患者と施術師の代表が、任期の2年間共に力強く責任を持って会の運営に当たります。

相葉	計佳 (施術師)	理事長	
山口	充子 (患者)	副理事長	組織
山西	俊夫 (患者)	〃	広報
久下	勝通 (施術師)		広報
平田	啓三 (患者)		広報
田中	榮子 (施術師)		組織
高橋	養藏 (施術師)		企画
瀬川	信幸 (施術師)		企画
武井	百代 (施術師)		企画
岩下	幸卯 (施術師)		レクリエーション
木幡	久美子 (患者)		会計
松原	幸靖 (施術師)		監査
早河	淳 (患者)		顧問



3月の理事会/左から時計回りで 山口・瀬川・山西・平田・田中・高橋・木幡各理事

今期 活動計画

1月24日の第2回理事会で本年度の活動計画が確認されました。

1. 会員数を増やす。
目標：正会員 150 名、賛助会員 200 名
手段：当会の PR 用ちらしを作成し、鍼灸マッサージ師会との連携を強化し協力をお願いする。
2. 行政機関（国会議員、厚生労働省）などへの要請行動を鍼灸マッサージ師会と連携し随時参加する。
3. 他団体、地域との連携を計る。
千駄ヶ谷社教館祭りに参加する。
医師および医師会との交流を計る。
4. 会員同士の親睦を深める。
定期総会 1 回（11 月）
理事会 定例 4 回、随時臨時理事会
会報 3 回発行、会員に投稿を募る
講演会 1～2 回
レクリエーション 1 回



「千駄ヶ谷社教館まつり」

に参加しました。

2月27日、渋谷区千駄ヶ谷の社教館まつりに昨年が続いて参加しました。このおまつりは、社教館を日頃活用されている文化サークルの方々の発表会の意味合いをもちますが、昨年初めて当会も NPO 活動の一環として参加しました。当日は、相葉、高橋、松原、田中、久下、松本、瀬川、武井各施術者会員の方々と木幡、平田、山口、山西会員計 12 名が参加しました。



当日は天晴の好入に恵まれ過ぎた反動のせいか、お客様の参加者が少なく展示と健康相談コーナーに出席された先生方も午前中は手持ち無沙汰でしたが、午後 2 時を回る時間帯から徐々に見学者が見え始め、写真のように展示説明や健康相談に努めました。



実際に身体の不調を相談される方々も多くおられたことから、地道な活動を真摯に継続することの必要性を痛感しました。先生方の熱心なアプローチに感謝します

今年是一般の参観者が東洋医療に対してどのように考えておられるかアンケート調査を実施しました。

集約結果は以下の通りです。

【アンケート調査結果】

実施日時：H23年2月27日 AM10～PM5

サンプリング数：7

①鍼灸・マッサージ診療をご存知ですか？

- 1. よく知っている 3
- 2. 聞いたことはあるが詳しくは知らない 3
- 3. 名前だけは知っている 1
- 4. 全く知らない 0

②これまでに鍼灸・マッサージを受診したことがありますか？

- 1. 現在受診している 1
- 2. 過去に受診したことはあるが現在は無い。 1

理由は？

- 1) 保険が利かず治療費が高い 1
- 2) なかなか効果が現れない 1
- 3) よい施術師に出会えなかった 0

3. 受診したことがない 5

③鍼灸・マッサージ治療を受けるのに保険医の同意書がないと、保険の適用が受けられない国の制約があることをご存知ですか？

- 1. 知らない 5
- 2. 知っているがやむをえないと思う 0
- 3. 知っているが同意できない 2

④性別は

- 1. 男 2
- 2. 女 5

⑤年齢は

- 1. 20歳未満 0
- 2. 20～30歳代 1
- 3. 40～50歳代 2
- 4. 60歳代 0
- 5. 70歳以上 4

⑥鍼灸・マッサージについてもっているイメージあるいはご希望があればご記入ください。

気持ちよさそうだが、どこの治療院に行っているのかわからない。(40～50歳代・女性)

* 当会への問合せをご紹介しました。

家族がマッサージ治療を長く続けたが費用が高いため辛かった。年齢のせいかマッサージは高齢者しかかからないと思っている人が多い。

(70歳以上・男性)

料金が高い。(40～50歳代・女性)

年齢のせいと思っているので、あきらめている。

(70歳以上・女性) 以上





患者さんの声

2010年2月、私の79歳になった母は突如呂律が回らなくなり、体の自由が利かなくなった為、病院で検査の結果、中度の脳梗塞と診断されました。

元々糖尿病、高血圧、高脂血症だった為、先生からはこの年齢で発症してしまうと手術はとても難しい、療養によって経過を見、リハビリを行い、これ以上悪くならない様にするのが最善の方法でしょう、という話でした。

自力で立てず、歩行ができず、話すことが満足にできない目の前の母を見て涙が止まりませんでした。脳梗塞だった私の父が鍼灸を行なって頂き、左半身麻痺が改善され、体が軽くなったのを見ていたので、母をもと思い、父が通っていたI鍼灸接骨院に行き先生に鍼灸と光線治療を行って頂いた所、3回目の通院時にベッドの上で激しく足が痙攣を始め、施術が終わった所、介助が無ければ立つも歩くこともできなかった母が1人で立ち、待合室のイスまで歩いて向かったのです。始めは驚いて言葉も出ませんでした。すぐに母と手を取り合い喜びました。

今は通院から3ヶ月が過ぎましたが、症状は良く、しっかりと話すことが出来、1人で立ち上がり、なおかつ散歩が出来るまでに回復しました。まだ完全にという訳ではありませんが、これもI鍼灸接骨院で先生に出会い、そして鍼灸と光線治療にも出会ったおかげと心から感謝しております。

しかしながら、それまでには保険外ということで医療費がかかったのも事実です。

始めは半信半疑であった私は母の回復していく様をこの目で見ました。その結果今では鍼灸を含め東洋医学は西洋医学に並ぶ優れた医学だと思っています。

なぜこの様な高い効果が証明されているにも関わらず、保険適用外になっているのでしょうか？医療は万人に平等であるならば医療費であっても平等であるべきではないのでしょうか？

老人医療は時間と労力と金額がかかります。その中の金額の部分だけでも、負担が少なくなる様に東洋医学を保険適用とすべくお願い致します。

この先の御年寄りが医療費で路頭に迷うことの無き様、重ねてお願い致します。

2010年5月8日 板橋区 H・Kさん

今後の予定

講演会

6月19日(日)

午後1時半～4時半

代々木上原社教館にて

講師:坂口三奈子

「私の家族を返して…

今の医療を問う」

田中榮子

「放射能から身を守る・
食物と生活」

～編集後記～

今号から会の役員が自主的に会報を編集発行する意気込みで取り組みましたが、パソコンの技術がまだ未熟で、未だにワードと格闘しております。

(広報担当)